

# 東北関東大震災 緊急支援報告

難民を助ける会では、3月11日(金)の大地震発生を受け、13日(日)から緊急支援チーム第1陣の3名を被災地に派遣。翌14日(月)から緊急支援物資の配付を開始しました。25日(金)現在、11名からなる緊急支援チーム(リーダー:野際紗綾子)が、宮城県と岩手県の障害者施設、高齢者施設、支援の届いていない小・中学校などの避難所で物資の配付を行っています。東京事務局では、多数の企業からご提供いただいたり、皆さまのご寄付で購入した食料、生活必需品、軽油・灯油を連日被災地に向けて送り出しています。

被災地で活動する野際紗綾子から届いた報告です。

## ■県や市町村の災害対策本部などと調整をしながら配付

13日、地震発生の翌々日に飲料水や食料などを積んだ車で仙台市に入り、翌14日、500人が避難する仙台市立中野中学校で物資を配付しました。同校に避難していた方々からは、「今日食べるものも何ともありません」という切実な声が聞かれました。

その後、東京などから運搬した物資を連日配付しています。難民を助ける会では、被災地の自治体の災害対策本部や福祉課、社会福祉協議会、他のNPO/NGOなどの関連団体と連絡・調整をしつつ、直接物資を施設や避難所に届けています。支援物資は、配付の際に、被災者の方々から今必要としているものを聞き、用意しています。必要な物資を購入、または企業や個人の皆さまにご提供を呼び掛けるなどして、調達に全力をあげています。25日までにのべ80カ所(15,000人)に物資を届けました。

## ■支援が届きにくい方々へ

支援を必要としているのは、避難所にいる方々ばかりではありません。22日、ケアプランセンターSLL本部(仙台市泉区)に支援物資を届けました。同センターは、高齢者や障害者の地域生活支援を行っているNPOで、避難場所に行くことができない障害者や高齢者など60人の被災者を支援しています。しかし一団体としての支援ではとても足りず、行政からの支援も避難所の外で避難生活を送る方たちにまで行き届いていませんでした。どこに助けを求めてよいかわからず困っていたところ、関係者の方が難民を助ける会の東京事務局に直接、その実情を訴えてこられました。東京から連絡を受けた私たちは、すぐに同センターに米や缶詰、調味料などを届けました。



■ケアプランセンターSLL本部に支援物資を届けました(左から難民を助ける会の萩原ソバナ、石橋周一、柴田良彦)

難民を助ける会には、被災された方やそのご友人などから、直接支援の要請が届くことがあります。孤立し、一日一日減っていく食料を前に途方に暮れている方々、何もかも失いながら支援の対象とならず、困窮極まる状態に追い込まれている方々。必死の思いで届けられたSOSになんとか応えたいと、できる限りの支援物資を車に積み込んでその場に赴き、直接お話を伺い、支援の必要性や緊急性を確認したうえでお渡ししています。難民を助ける会にできることは限られていますが、障害者や高齢者など災害時の支援からとりこぼされがちな方々や、行政や大きな団体では目の行き届きにくいところにも配慮し、着実に支援を届けてまいります。



■(上)被災後の女川町の様子。二つに分かれて流された電車が目に留まります(下)さらに必要な物資の聞き取りを行う野際紗綾子(右)

緊急支援チームリーダー 野際紗綾子

## ■3月13日(日)～26日(土)までに被災地に送った物資の概要

### <宮城県>

- 軽油 3,600リットル ●灯油 4,200リットル ●ガソリン 500リットル ●乾電池 段ボール80箱分 ●水 11トン ●米 2トン
- みかん 1.5トン ●栄養補助食品 3,600個 ●一口羊羹 20,000本 ●トイレットペーパー 10トン
- その他食品(レトルト食品、缶詰、菓子類、スープ類など) ●毛布 1,000枚 ●簡易寝袋 3,400枚
- 下着・衣類 19,000枚 ●マスク 5,000枚 ●カイロ 4,300個 ●紙おむつ 42,000枚
- 女性用衛生用品 12,000個 ●育児用品(離乳食、ベビーフード、育児食器、ほ乳瓶、など) ●その他(お茶、カセットコンロ、業務用おしぼり、軍手、文房具、風呂敷、タオル・手拭いなど)

### <岩手県>

- 女性用衛生用品 800枚 ●おむつ 2,000枚
- カイロ 600枚 ●マスク 600枚 ●電池 400個
- 歯ブラシ1,000本 ●食品(即席みそ汁、スープ缶、バナナ、カップラーメン、お菓子類など) ●その他(ポケットラジオ、カセットコンロ、軍手、ティッシュ、絆創膏など)



■物資を運搬するトラック。運搬や灯油、軽油の調達に高野興業株式会社(三重県)に多大なご協力をいただきました



■エコ療育園(仙台市青葉区)での灯油配付の様子。左が



■物資の積み込み(東京事務局前)

## ■3月14日(月)～25日(金)までの配布実績

### <宮城県>

市区町村名	種別	事業所・施設名	避難者人数
1	青葉区	障害者施設 エコ療育園	300
2	泉区	障害者施設 幸泉学園	確認中
3		高齢者施設 ケアプランセンター-SLL本部	60
4		高齢者施設 シルバーサポート	50
5		高齢者施設 GILたすけっと	60
6		高齢者施設 せせらぎ	確認中
7	太白区	宮城県社会福祉施設経営者協議会	周囲の施設に物資を配布
8		障害者施設 太白ありのまま舎	110
9		障害者施設 萩の郷福寿苑	150
10		障害者施設 萩の郷第二福寿苑	100
11		障害者施設 仙台ありのまま舎	11
12		障害者施設 宮城県拓桃医療療育センター	120
13		障害者施設 植祥ワークキャンパス	30
14		障害者施設 仙台ワークキャンパス	35
15	宮城野区	避難所 中野中学校	500
16		高齢者施設 有限会社 仙台在宅サービス	20
17		高齢者施設 みはらの社	40
18		障害者施設 宮城県身体障害者福祉協会	100
19		障害者施設 きょうどう舎グループホーム	35
20		障害者施設 仙台通勤寮	20
21		障害者施設 きぼう園	110
22		障害者施設 わたげの家	20
23	若林区	避難所 七郷小学校	確認中
24		避難所 蒲町中学校	確認中
25		高齢者施設 地域密着型施設デイサービスセンター 美の里	10
26	岩沼市	高齢者施設 ひなたぼっこ 桑原	25
27		配付拠点 岩沼市役所	周囲の施設に物資を配布
28	石巻市	避難所 鹿妻小学校	1600
29		高齢者施設 ライフサポートこもれび・ひだまり	確認中
30		障害者施設 サンネットなごみ	400
31		避難所 根岸会館	120
32		避難所 石巻市陸地区	300
33		避難所 門脇中学校	1200
34		避難所 山下小学校	600
35		避難所 好文館高校	780
36		避難所 ビッグバン	600

市区町村名	種別	事業所・施設名	避難者人数
37	女川町	避難所 女川町第二小学校	1500
38		避難所 気仙沼市災害対策本部	確認中
39		障害者施設 高松園	150
40		障害者施設 第二高松園	170
41	気仙沼市	障害者施設 只隼荘	50
42		障害者施設 夢の森	95
43		高齢者施設 土筆の里(本館、別館)	確認中
44		高齢者施設 さんさん館	150
45	塩釜市	避難所 塩釜市体育館	130
46	柴田郡	高齢者施設 小規模多機能ハウス くすのき	530
47	伊達市	避難所 伊達市役所災害対策本部	
48	名取市	障害者施設 宮城県精神医療センター	100
49		障害者施設 第二共生園	100
50	東松島市	障害者施設 第二共生園別館	25
51		高齢者施設 有限会社 いずみの郷	32
52		高齢者施設 社会福祉法人ことぶき会 デイ	100
53	南三陸町	避難所 歌津中学校	600
54		避難所 旭ヶ丘コミュニティセンター	40
55	大和町	障害者施設 宮城県船形コロニー	100
56	亶理郡	高齢者施設 日就会	250
57		障害者施設 静和園	57

※複数回配付している避難所、施設もございます

### <岩手県>

市区町村名	種別	事業所・施設名	避難者人数
1	大槌町	避難所 小槌地区	50
2		避難所 大槌町教育委員会(町災害対策本部)	
3		避難所 福祉の里センター	335
4		障害者施設 気仙養護学校	199
5	大船渡市	避難所 猪川小学校	50
6		避難所 地域農政担い手センター	20
7		避難所 蔵ハウス大船渡	27

※支援活動にあたっては、企業や団体、学校、個人の皆さまよりご寄付や物資の提供などのご協力をいただいております。また、ジャパン・プラットフォーム(JPF)からの助成も受けています。すべての方々をご紹介することができませんが、何卒ご容赦ください。皆さまのあたたかいご協力に心より感謝申し上げます。



■20日、高齢者施設「くすのき」(宮城県柴田郡)への配付。前列右は物資の提供、運搬にご協力いただきたい株式会社サンマップ(福岡県)の松岡代表取締役社長。(左端は難民を助ける会理事の萩原ソバナ)



■23日、旭ヶ丘コミュニティセンター(宮城県南三陸町)。避難している皆さんは、津波に襲われ命からがら逃げてきました。株式会社虎屋からご提供いただいた羊羹を渡すと、とても喜んでいらっしゃいました。(左は難民を助ける会理事の加藤勉)



■21日、高齢者施設の「土筆の里」(宮城県気仙沼市)に物資を配付。右は難民を助ける会の古賀俊之。高齢者の多い施設には、軟らかく食べやすい食品を届けるなどの配慮をしています